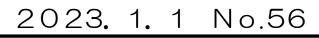
## めうあい

題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下



共に生きる

社会福祉法人友愛十字会





『一面の枯蓮と翡翠』

主な記事																														
○2023年	を迎え	て	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	総	裁	瑶	子女	王	殿下
○新年を迎え	、中長	期的	な	法人	0	方	向	を	考	え	る		•	•	•	•	•	•	•	•	•	4	是会	₹•	理:	事長	₹	蒲原	ĺ	基道
○創立記念日	永年	三勤続	者	表彰	式		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		世	田	谷夏	更生	三館	1	部長	ŧ	渡邊	ļ.	朗史
			• }	港区	立	章:	害個	保值	建社	富	祉	セ	ン	タ	_	地	域	活!	動	支持	爱	せは	ノゟ	<i>z</i> —	- 7	部長	ŧ	小出	由	貴子
																														恵子
																												上村	美	由紀
○就任挨拶																														英利
		• •	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		友	愛;	ホ-	-1	``	副	園長	₹	早田	I	政治
○子育てと仕																														
○瑶子女王殿	下御祷	!察	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•		•	友	愛荘
○小倉大臣御																					À	巷[	<u>x</u> <u>d</u>	乙児	童	発達	室室	援セ	ン	ター
○ヒューマン、	ぷらさ	ぎまつ	り	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	ì	巷[	<u>x</u> <u>d</u>	乙障	害	保係	丰福	祉セ	ン	ター
○事例研究発																														
○友愛青空マ	ルシュ	/宮村	兼チ	ヤ	リラ	<u>-</u> 1	· _	- ボ	ミウ	IJ	レン	15	ř.						•	•	•	•	•	•	· 圳	岐域	連携	毒委	員会	€他

# 2023年を迎えて

総 裁 瑶子女王殿下社会福祉法人 友愛十字会



す。 王  $\mathcal{O}$ 7 友 頂 次 十字会の 女 てお 0) 瑶 り 子でござ 総 ŧ 裁 す、 を務 寬 仁 8 親 ま さ

忌を れ に *、*さ・ 断 ほ 歩 ま 昨 本 どの んでい をしてきたなぁ 執 年 L 当によく一人で様 寂 た。 ŋ  $\mathcal{O}$ ŧ 行 しさ・ 6 そし く】という選  $\mathcal{O}$ 月 だったかを実 6 孤 改 日 て、 独  $\otimes$ 12 3 ま て と思わさ 父 だ  $\mathcal{O}$ 父 が 0 共 々 10 で な 感 ど 偉 周

> り、 おりま は、 ことが 荘 ニケー で、 ことも も開 ょ 皆さまとも さを覚え るようで戻 言 を再認識 本当に大事 私 い出来事 は いって、 勿論 の活力に *\* \ な の新たな門 唯 利用 目と目を合わ 昨 年 催 い C 私にとって、 ま ショ したし、 をすることが出 出 出 3 来、 記念植 者 しました。  $\mathcal{O}$ にます。 О でし 11 来 ょ 交流 れな V なことであること なりました。 交流の場とな  $\mathcal{O}$ 年 月 ま う た。 皆さまや職 建 Ι を取ること 前 か、 せんでし 1 各施設 樹 出 そのような D が 物 11 に 合同 はもさせ 日に せてコ とても 状況 19 出 に立ち会う  $\mathcal{O}$ 戻 考え 中 来 ŋ  $\mathcal{O}$ 来ず  $\mathcal{O}$ に 運 たこと 友 0 に 影 は、 た 方 視 3 り、 P 伺 動 嬉 員 7 歯 0 は 愛  $\mathcal{O}$ に 会 頂 察 中 う 痒 1  $\mathcal{O}$

たり前にならないのは、どう日々を過ごすということが当まだマスクを完全に外して

策とは ことは大事なことです が ということは、 と 様 自 が 病 は?と思ってい が 7 自 な 話 浴 吸うことも、 す な 半分以上見ることが ると思い n L いに分からないということで ている 氣付 てし は 疲弊していては 気でも怪 いることに、 分の心や身体 わけですから、 をすることもし 氣持ちでい た あ びることも、 Þ 分 り な方法で表現して 0 ŧ 大 外でい かな いえ、 ŧ ま 事 想  $\mathcal{O}$ せ  $\mathcal{O}$ ま 0 カン なことで た 方 我 ん。 V) と思う か?今、 す を 知らない でも と しっかりと陽 7 るの が 声や文字 ます。 もうそれ が 色 どん 空気を大きく ŧ ٧, 一 人 一 感染防 けない 弱 づらい か?が あまり意味 対策をとる 々 相 沢 毎 は どの って いうち な方と会 な 出 手 山 日 いくこ な どん 表情 が 来  $\mathcal{O}$ お ハが、 、 など ぞれ 状 ょ な  $\mathcal{O}$ 11 お 5 止 顔 を な う 万. で 対 況 を れ 慣 が

> 5 弱音、 一人では 笑。 いが もしながら過ごしてい 助 ど ま 間 議 まることだと思い L ・ます。 論 が 理想ではない け 0 ょ 笑いあ 世代 かか を吐くまでに をするの 合 うか?どん たところ は生きてい 1 こでも、 と 言 ります。 11 尊 ロいなが は 重 0 時 それは当 かなと思って なことで 好 L は に言 け 父に似て きで ま あ つ , 5 きせ 相当な時 V) で くこと いく す が、 なが す。 は は は

ます。 て、 が、 来る機会が、 なること。 ら 来ること。 いと思うことが心 願 今年こそは、 そして増えることを心 0 つか 皆さん 皆さん りと見 私 まず  $\mathcal{O}$ 挨 皆さ 災拶と は と 置 が える きなく なさり 元 お  $\lambda$ 状況 に 会 **,** \  $\mathcal{O}$ 表 戻 た か 出 出

# 法人の方向を考える新年を迎え、中長期的な

会福 ·理事長 祉法人 友愛十字会 基 道



協 ま ま て 発 感じておりま 方 展 力 け を  $\mathcal{O}$ ŧ 新 引き 努 得 して たな 8 0 る決 つ、続き おめ 年 きの す 意 法 を でとうござ 人 人ご支 迎 を え、 あ 〈援、ご 5 事 た 業 3 8  $\mathcal{O}$ 11

12 5 建 京 移 聴覚障害者ここ数年、 て 0 検 替覚え障 る  $\mathcal{O}$ 7 世 改者実 き 町 中田 築 支現 田 7 の援 長 谷 お期 0 の検 セ 的施 友 ン 板 討 がタ橋愛進ーの荘 な設 方 全 進 年向体めの東の

> いには まと ぜ  $\bar{\aleph}$ S とも て 11 き た れ 11 と考 定 え  $\mathcal{O}$ 7 形

は、 て のと理 し人き に、 各 く生きる、 々が 1 解 ک きたいと考えます。 (T) 事 業 助 です。の法人  $\mathcal{O}$ 中 7 際 の長 お け り、 在 期 合 大 と  $\mathcal{O}$ り 的 1 事 ۲ なが 方 な 理 1 に を  $\mathcal{O}$ うこと 世 念 L 理 具 ら自 田 念 た 共 体 谷 だ を 々 分 に 1 化施 な لح 設 ŧ) 5 生の

す。 視の 議にれ 点 が まで で、 浮 カコ ٧, の職員 び くつ 上 が か、関 0 て 検 係 い討 者 まのと

るさ障ば応は にる え る れ 玉 施 害 し 砧 第 通 世 ことで 院立 設 て者 て 地 い区に Z 成 田 やい福 事る社谷区 育  $\mathcal{O}$ は れ < 今後 す。 て 医 視 世 向 関  $\mathcal{O}$ 療 所 ۲ 点の 高 田  $\mathcal{O}$ やす る 研 世る 方 の状 齢 でニ 谷 究 す。 1 セ地況田 計 者 区 々 さら 。 ズ 例 に  $\mathcal{O}$ ン 区 を 谷 画 福 ター に踏にに祉 あまあ示や え対に

ごろうか

11

支援、 を多く 支援を を世 支援、  $\mathcal{O}$ 業 齢 現 す カュ 11 きた 業 類 者 田田 務 型で た支 視 を実 ま 障 地 点 いと考えます 谷  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 行 で、 中で培 域支援 害 施 区 職 ŧ で さま 児 す。 員 砧 入 L が、 サ で て カュ  $\mathcal{O}$ ^ ら 7 当法 ĺ 人の , 共有 ます。 地 わ な お れた専 で発 ど、 ま障 ビス り、 通 強 Ĺ 所、 な 害 人 た専門 幅 施方 2 を 揮 で 者 ۲ L 広 相 設  $\sim$ 実 を は てれ 性 5 事の い談 高 施生

とが のめ施 ス 第三に を 財 に L 必要です。 は て 将 い来くに 各 く視 は、これら 事 わ たり が業 点 見に で す。 継 込 9 1 ま 続  $\mathcal{O}$ こ的に て サ れ ] る \_ 定た実 ピ

的働 整 重 合 き 要 ま に で た、 働 で す き Ι す。 <sup>9</sup>。職 ど み V C Τ け のな 修 る場の た づ 活 体育事 成業 く用 制  $\Diamond$ ŋ を を  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 定 行 通 仕 組長 じ 層 着 う み期たのが場

> たい と思 ŋ ま 取 1) W で

Ŕ す。 者 の て、 は、こ す。 はい員 て、 診に <  $\mathcal{O}$ を 田施 討 、だけ 具 療 な 中 L と考え  $\mathcal{O}$ 、いろ 谷 設 若 ふってい 砧 意 核 何 工 声 施長 あ 体 所 7 手職 夫 地 と を れ 見 に で 設 ŧ  $\mathcal{O}$ た 的 なく、 薬局 区 な 5 11  $\bar{+}$ い以 皆 を Ł 0 な らうこと て る、町でこれ っても ろ る 分に 外の 員 て して  $\mathcal{O}$ 3 大 検 11 若 側 な な 事 は、 カュ ま ど 聴 法 に 手 で 意 施 5 様 す。 で職 幅 内ま き 中 人 見 L 11 設 ŧ す。員が の若 進 で て 広 もなな て 会 長 を 験 長 ま さ  $\Diamond$ お が期 11 を 12 豊 11 11  $\mathcal{O}$ す 11 関 要 提 5 きた 含は きま 方、 方 手 た 富 世 併法的 係 で せ 8 世 な 検

年いら 力 (をお) 法 皆 引 3 人 思 願 き のま 続  $\mathcal{O}$ 将 ま いた 来を 力 す を します ご支  $\mathcal{O}$ 描 11 で、 1 た て だ き 11 0) き な が

## 創立 記念日 永年勤続者表彰式

#### 勤 続 20 年を迎えて

施設で開 28 創 日 立 12 記 永 催されまし 念 年 日 勤  $\mathcal{O}$ 続 令 者 和 表 た。 4 彰 式 年 が 9 各 月

名にこれまでの想いとこれからに 0 15 今 て語 口 は、 っていただきました。 勤 続 20 年を迎えた 4



部 長 渡邊 朗 史

世

田

谷

更生館

谷 更 私 生 は、 館  $\mathcal{O}$ 平 成 職 業 14 指 年 導 1 員 月 と に L 世 7  $\mathbb{H}$ 

> 上げ 永 係 用 頼 とうござ が 導 日 ŧ 入 きと ま あ Ł 年 職 者 者 ŧ で続 勤 たことが 0  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ L 1 す。 皆 優 < 続 た 皆 た 秀な 様 か 様 個 けてこら 1 表 L 5 ま 彰 カコ を 性 ま だ を 5 は な す。 同  $\mathcal{O}$ L 頂 た。 温 じ 強 カゝ 僚 8 福 き、 カュ 1 れ 0  $\mathcal{O}$ ک とし た私 感 た 先 祉 11 助 ご支援 耄 あ 謝 け、  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ た 度、 申 方 勉 ŋ ţ が 関 が 利 今 強 L  $\mathcal{O}$

こと。 P, 職 5 当 ま れ 采  $\mathcal{O}$ 頂 す。 業 筋 たことを懐 配 進 お 時 1 頂 指 叱 は を 8 で れ 7 利 利 勤 まで ŋ 1 逆 方 振 導 1 用 に、 を教 を受け 用 た ることです 員  $\emptyset$ る 仕 者 者 て 私  $\mathcal{O}$ 企 事 利  $\mathcal{O}$ か え ま  $\mathcal{O}$ 仕 は、 業 皆 0) 用 L 皆 な た 事 1 管理 様 < 者 様 が り、 は、 り 職 様 と が 思 5  $\mathcal{O}$ に、 ま 業 が けをす 指 皆  $\mathcal{O}$ 持 指 仕 仕 11 L 導さ た。 0 出 様 入 事 仕 折 事 導 職 る 7 員 事 衝 を カン  $\mathcal{O}$ 

> や 要望 0 き が 事 11 だと思います。 でこれまで続 できるこ る に 成 に 力 取 長 を引 応えるよう、 ŋ を間 組 き出 0 むこと 仕 近 事 に け Ļ 感じること てこら がとて 0 企 緒 業 ŧ 体 に 様 れ 感 好 仕  $\mathcal{O}$

す。 く頑 とっ ると る 分 職 ても 張  $\mathcal{O}$ 職 員 で が安心して 0 0 場 きる 安 思 7 は、 小 いきたい 1 利 ことを L が て通え 用 あ 長 者 り、 と思 自  $\mathcal{O}$ < んる場 皆 分 今 勤 後 5 様 8 ま で 12 5 L

あ

れ

自



港区 地 域 <u>寸</u> 活 障 動 害保 支 部援 長 セ 健 ン 福 小出 タ 祉 1 セ 由 量子 タ

中で生 なく きた まり Ļ 友 が L 士 十 1 ただくことが 车 愛 国 た。 ک サ 11 ŧ 私 福 家 利 デ 前 V て ]  $\mathcal{O}$ 用  $\mathcal{O}$ と思 試 活 1 私  $\mathcal{O}$ 度、 祉  $\overline{Y}$ ピ 者と 作 を 験 平 施  $\mathcal{O}$ が ス 成 共に 業 設 理 Ο 永 0 11 1 セ 職 合格 療 年 念 U できま  $\sim$ 14 る ン ける環 員  $\mathcal{O}$ 法 医 & 勤 で 年 タ کے 療 す。 士 就 発 続 Ι 4 ] 作 そ 人 職 機 表 表 月 L (あ に を見 友 生 を 関 境 地 業 た。 れ 彰 愛デ 希 は、 な 入 が で で 域 療 を 職 望 は 働 ま 法 始 1

練だけ 年、 備室 管理責任者等、 加 日に至るまで十三年間 作業療法だと思っています。 することができ、 住 活 に 障害保健福祉センター 健 .従事 平 相 福 |宅設備改善相談| の場づくり、 成 談、 祉 業療法士として直接 してい 20 でなく、 セ ンタ 平 行事の 年 成 10 21 Î ます。この二十 月港区立 沢 補装具製作や 企 年 生活介助、 0) その全て Щ 指 画 4 サービス の経験 定管理 月 一障害保 社会参 の業務 から今 港区 を 生 が 訓 ₩.

念の す。 ス 事 辈、 く理 た 11 0 0 一十年もの間働くことができ 同 一念になっています。 業所の方等、  $\overline{Y}$ おかげだと思 「共に生きる」は は、 僚、 OU&I」と法 利 職 用 場 以外 者、 沢 って 家 Щ 0) サー 私 族、 0 *\* \ 出 人理  $\mathcal{O}$ 先 会 ま 働 ピ



砧ホーム 富田美恵子

ございます。この度は、永年勤続表彰を

す。 とができましたの 砧 お陰と心 二十年間 ホー ムに勤めさせて頂くこ より という長 感 謝 も皆 1 たし 々様 期 間 ま  $\mathcal{O}$ 

出が蘇ります。

とが思い出です。 の人と一緒に仕事ができたこの人と一緒に仕事ができたこ

色

々とご指導を頂

又利

用

たします。

一つ後ともよろしくお願いいて頑張りたいと思います。



砧ホーム 上村美由紀

りがとうございます。う身に余るものを頂き誠にあこの度は永年勤続表彰とい

謝 のお力添えがあ 長 はじ しております。 これもひとえに砧 思 い起こせば、 め職員、 利用 0 先輩 たか 者 ホ 方か 5 0 1 方 لح A 5 亰 Þ

> 者の こまでやってくることが出来 どを ました。 方 カゝ け 々 にも温 て頂き、 カコ なん 11 お とかこ 言 葉な

遣い れたの が せん。とても け勇気づけられ ましなどの 分なりに精 ない っぱいです。 自分に起きた病、 4 Ŕ ŧ 利用者  $\mathcal{O}$ 声が 皆 で 感 様 杯頑張ってこら ありますが、 たかわ 謝 け  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 心温 方か 0 Ŕ 気持 治ること どれ 5 カゝ まる心 ?りま の 5 自

張っていきたいと思います。として、健康に気を付けて頑これからも砧ホームの一員



# 就任のご挨拶

副園長 小関 英利友愛園



より 年度より副園長に就 た小関と申します。 様、 友 愛園 こん の支援部 にち は。 任 長として、 令 11 -和三年 たしまし 今 度

十数. て、 ただきました。当時の友愛園 指 地 ただきながら、 わで 世 重 実は、 田 度身体障 導員として十年間勤務させてい 点は、この『友愛園』で、 けることができました。 私 、 う は、 な 谷 八所生活(更50名) がら作業を行 たくさんの方に支えて 私の職業人生のスター 友愛十字会に勤務 度」とあります ルタイムに近い作業時間他工場レベルの作業が行度」とありますが、当時 タイムに 害者授産 今日までお仕事 って 名、 運営をしてい 施設として、 友 58 名) おりまし じて二 生活 は、

しい施設でした。

取り組みを行っています。の働きやすさの向上にも具持ち上げない介助を実践し 設置 動ベッドの導入や居室内の自由なに改修してくださったことで、電分を一部屋として使用できるよう を活用 が、 私も同様ですが、異動前から十数鮮な気持ちです。施設の設備は、新たな勤務地に配属となったと新 全 く の 続できる、ご利用者にとってよりDLの低下があっても、生活を継 と生活介護に事業移行が 者 レ 年 安心な施設となりました。 「古巣」に戻った感覚は '働きやすさの向上にも具体的な!'ち上げない介助を実践し、職員 現在の イアウトが可能となり、ご利 が 0 当時の 大浴場に天井走行型リフト Q O 経過し老 (現在はデモでの使用)  $\mathcal{O}$ Ļ 低下があっても、 の友愛園 L 宮崎園長自らが二部 108 施設」で、 が向上しました。 名分の入所スペー 朽 化 が 施 否めま 私 設 生活を継 うされ、 し、 少なく、 自身 当時 せん Ļ 支 ス ŧ 援 ま 用な電 لح A を 屋

クワクしています。どこまでできるのか、私は実にワを借りて、支援に温かさも込めて頼りになるスタッフの皆さんの力頼りになるスタッフの皆さんの力て、味のある空間にできるのか、この古い施設にどう磨きをかけ

# 就任のご挨拶

副園長 早田 政治友愛ホーム



友愛荘 た記 でい 町 ら「寮父さん」と呼ば 護 L を拝命い じます。 た。 老人 職 恥 田 令 ずか ましたので、 憶があります。 市 員」を「寮母・寮父」と呼ん 和 当 時  $\mathcal{O}$ に ホ 4 じい ある たし 介護職員として入職 ] 私は、平成 年 の老人ホームでは ム友愛ホ 7 まし 特別養護老人ホ ような違 月 た早 1 お年寄りの方か 日 6 はれるのは 和 田 付  $\Delta$ 年 感  $\mathcal{O}$ け 政 4 月に で、 を覚え 治 副 上り申 . 介 ĺ 1 園 少 ま L 長

る女  $\mathcal{O}$ 老人 部 動 平 性 成 屋 L 0 ホ てきたとき「古き良 0 26 前 利 1 年 を 用 ム」を感じまし 3 月 に 者が 掃 除 がする場 毎 友愛ホ 朝 工 プロン姿 面 た。 つき時 1  $\Delta$ あ 代 に

> 介護施設 で懐かしさを覚えました。 以成 せてくれるも わるという福祉 前 12 分でもあ の特別養護老人ホ 年 施 とは違 行 0) ŋ, でした。 職 った生活 初心を思  $\mathcal{O}$ 醍 険 醐 制 味を感じ 全般に携 ム それ このよう 度 11 出 は

半の時間な と言わ 老人ホ す。 活が送れるよう努めて参ります。 性を感じます。私たちは、それ 当てはまらない制度の狭間 し員 を始め、 他施設の施設長並 一つ屋根の下で安全で安心した生 れに入所の理由が異なる利用者 ると養護老人ホームの役割と重 スや虐待者からの保護の依 超え要介護者は増加 のうち2割以上の方が要介護3 方が要介護認定を受けて 一げます。 現 い条件は緩  $\widehat{\mathcal{O}}$ 撻賜りますよう何 の皆様には 在の友愛ホー 職 玉 れ ]  $\overline{\mathcal{O}}$ 員は要介護者 ムの を消 地 る中、 配 置基準 域の皆様、 似和された 豊貴され、 引き続きご指 「措置控え」がある 医療にも介護に ムは、 びに職員 は ませ ます 卒 への支援に大 傾 15 措置 向にありま お .. 1 が、 約 ん。 願 お 実施 の皆 頼が り、 6  $\mathcal{O}$ 支援 割 ケ 養 申 機 様 が ぞ 要 あ

## 子育てと仕事 両立について

友愛十字会男女共同参画委員会

と活動しています。 立できる職場環境を創っていこう きやすい、子育てや介護などと両 当委員会では、 女性も男性も働

す。 ています、 今回は、 子育てとの両立をされ お二人をご紹介しま

## 東京聴覚障害者支援センター 幸

お休みを頂いた時は申し訳なさで もが体調不良で急遽仕事をお休み めました。二度の産休育休を取得 今の職場に入ったきっかけは産休 になってしまわないか、 に入る職員の代わりとして働き始 ハラしています。子どもの看病で に休んでしまわないか、 ています。 私 時短勤務で今も継続して働 は聴覚障害をもっています。 妊娠中は体調不良で急 毎日ハラ 今は子ど

> ことのないよう、 す。子どもの看病で休むこともあ ご理解もあり、 を付けています。 りますが、自分が体調不良で休む いっぱいですが、 今に至ってい 職場の皆さんの 日々健康には気 ま



時、 ならなかった 休まなければ 待機で仕事を 象のため自宅 濃厚接触者対 口 ナウイル 子どもが 特別休暇 ス コ

た時はとても助かりました。  $\mathcal{O}$ 対象になっ

ミュニケーションしながらの仕事 環境はそうそうないため、今も楽 ましたが、子育てをし、手話でコ しく働かせてもらっています。 て給料が半分ほど下がってしまい 常勤で時短勤務は妊娠前に比

復帰しやすい社会になってほし 児休暇を取得しやすい環境、 と思っています。 されていますが、男性も女性も育 今は男性の育児休暇取得も推奨

の念から、

家庭

## 友愛デイサービスセンター 武者 愛里

しました。 育児休業を経て、 私 は約2年間 0 友愛デイへ復職 産前産後休暇と

は 現在で

2時間 育児

半の

務を活用 短時間勤

る喜びを感じながらも、 ています。 友愛デイへ復職 9 時半 か 5 16 した直後は 時 まで 勤務時間 勤務 働 け

ています。

は」という自責 まっているので 迷惑をかけてし ました。 ないこともあり まなければなら 「自分が職場に その た め

> ていました。 と仕事の両立に大きな不安を抱え

ことができました。今では、 う!」とモチベーションを高める 業務を任せてくださったことで い環境を作ってくれています。 遣っていただき、とても働きやす 皆さんが私や子どものことを気 充実した気持ちで仕事に取り組 そんな中、 また、木村センター長が様々な 自分にできることを頑張ろ 友愛デイでは職 毎 員  $\mathcal{O}$ 

と思います。 仕事をしっかり両立していきた とを精一杯頑張りながら、 を忘れずに、自分自身にできるこ これからも周囲の方々への 家庭と 感

をこなせないことや、子どもの体 が短いために以前と同様の業務量

不良によって突発的に仕事を休



# 友愛荘御視察総裁瑶子女王殿下の

た。 裁に友愛荘を御視察いただきまし 令和4年11月1日(火)に、総

た。 回 なく中止とさせていただき、今 ス感染症の緊急事態宣言下でやむ ていましたが、 19 御 日 ご覧いただくことができまし 視察の計画は令和 水 0) 竣工式典を予定し 新型コロナウイル 3 年 5 月

御視察は、屋上から周りの風景をご覧いただき、従来型多床室の西館とユニット型個室の風ユニットでは、入居者との会話を通じ交流していただきました。入居者も、ださり、総裁自ら話しかけていくださり、総裁自ら話しかけていただくなど、和やかな雰囲気となっただくなど、和やかな雰囲気となりました。

年となるため、川柳大会を初めて11月1日は友愛荘の開設48周

彰者におことばを戴きました。 賞の表彰式にもご臨席頂き、被表

その後、中庭で記念植樹を行き、皆さん大変感激していました。その際にも周りや階がきました。その際にも周りや階がある。

お帰りになった後、入居者の方々に総裁の御視察についてお聞きすると、「おきれいな方ですね。」「あんなに気さくに話しかけてもらえるなんて思わなかったので、らえるなんて思わなかったので、もにお顔を見られませんでした。」などのお話を聞くことができました。

出になりました。していましたので、大変良い思いできるのをとても楽しみにお待ちできるのをとても楽しみにお待ち

一同、心から感謝申し上げます。したことに、法人及び友愛荘職員お忙しい中、お越しいただきま







# 小倉大臣 視察内閣府特命担当

港区立児童発達支援センタ

特命 を訪問されているとのことでし をされており、 立される「こども家庭庁」 担当大臣として令和5年4月に設 発達支援センターの視察にお見え になりました。大臣はこども政策 9 今回の視察は、 担当の・ 月 21 日 小倉大臣が港区立児童 精力的に児童施設 その一環とし 後、 の準備 内 閣



て行われ、多忙なスケジュールので行われ、多忙なスケジュールのではまず最初に児童た。センターではまず最初に児童た。センターではまず最初に児童た。センターではまず最初に児童た。センターではまず最初に児童ではたちの中に加わり、お話をされたいました。

PROTECTION OF THE PROTECT OF THE PRO

を越えての視察となりました。大の方5名と意見交換を行いました。保護者の皆様からは忌憚ないた。保護者の皆様からは忌憚ないか、保護者の後、児童発達支援通園と

会うことの大切さ

港区立障害保健福祉センターでは、令和4年10月30日(日)には、令和4年10月30日(日)には、令和4年10月30日(日)には、令和4年10月30日(日)にたったが、三年ぶりということになりまら、三年ぶりということになりまら、三年ぶりということになりまら、三年がりということになりまたわけではないので、規模を縮小たわけではないので、規模を縮小たわけではないので、規模を縮小たわけではないので、規模を縮小し、万全の感染予防対策を講じたし、万全の感染予防対策を講じたし、万全の関催でした。

当日は好天に恵まれ、オープニングセレモニーは慶應義塾大学ラルた。ステージ発表や模擬店、バルた。ステージ発表や模擬店、バルトミュージックソサイェティのかがありました。恒例のスタンプルがありました。恒例のスタンプカイトミュージックソサイェティのカットを表表を模擬店、バウォーキングや車いす体験も実施でき、来場者は88名でした。

まってくださいました。 83名のボランティアさんが集す。参加団体の方々をはじめ、 このおまつりの特色は、多くの

参加者の皆さんが口々にお話く 参加者の皆さんが口々にお話しているから、何かあったときに助け、助けら、何かあったときに助け、助けられることがあるのよね」といいわよね」「年1回でも他のださったのは「やっぱり会うってださったのは「やっぱり会うって



#### 事 例 研究発表研修

事例 ました。 理事長賞、 七つの発表が出され、 9 事例研究発表が行われ、世田谷施設において、9月28日 水曜日 秀賞、 、特別賞が選ばっれ、六施設から れ、六施設から

### 理事長賞

『互いに支えあえる地域づくり ·認知症カフェの取り組みから考える~ 砧あんしんすこやかセンター 

をさせていただきました。 症カフェ「キヌタdeカフェ」 研 究事例発表会にて、 「あ 砧 んすこ」)では、  $\lambda$ しんすこやかセンタ カフェ」の紹介は、令和四年度は、令和四年度

発表者から お読みいただけましたら幸いで前々号54号でも掲載しましたの のコメントを紹介し ま

この認知症カフェにつきまして

りました」(森亜紀)。 い当時のことを知る良い機会にもなまでを振り返り、直接携わっていな 家族会から認知症カフェの立ち上げ「今回発表の準備をするにあたり

み上げに関わった地域の皆様や職員うことを改めて感じ、今まで長年の積つながりの中で実現した事業だとい「地域の中での様々な積み上げや の方々に感謝の思いです。本事業を認



います。」(渡辺でいきたいと思 を考え取り組ん が安心して暮ら せる地域づくり』 くなかでも『誰も 口で展開 症支援 l

年度からは、児童館を含めた四者連三者連携が基本となっています(今 くりセンター、 種 取 ŋ 組 かに つきましては、まちづあんすこの各 社会福祉 協議会との

です (令和4年11月現在) 学園の皆さんとの音楽会を開催予す。クリスマスには地域の目黒星 いただくなど連携して運営していまにボランティアのつながりを作って クアップいただき、社会福祉協議会 まちづくりセンターに広くバッ 口 た認 知症 カフ 定美 エ

います。 り、後の て聴いていただけたことに感謝し させていただきました。関心を持っ を知ってもらう」ことを目的に発表り、私たちも「自分たちの取り組み る機会だと感じています。他施設の取り組みを知るこ 施設の取り組みを知ることができまた、年一回のこの発表会は法人 の感想でも申し上げましたとお 今回発表

ば、より発展的な発表会になること でき、更に他施設との連携に繋がれ今後、法人内で様々な情報を共有 今後、 法人内で様々な情報を共

0 て切り 切 優秀賞

『キッチン調理が生んだ

QOLの向上」

オムライスへの想い~ 厨房からキッチンへ

ちらも優秀賞を受賞することができ ました。 祉 (水) に開催された「アクティブ福 in 事 9 町 例 月 '田」で発表を行いました。ど 研 28 究 日 発 水 表研 修」と11 開 催された「 友愛荘 月 9 日 法

例 先駆的な取り組みとライブキッチン を愉しむことでQO によって入居者の五 アに加えて調理業務をこなしている まとめました。介護職員が通常のケ ぎ、 を紹介しました。 をキッチン調理に変更して一年 移転改築を機に入居者様の食事 食事提供の変更に伴う変化を Lが向上した事 感を使って食事 が 提

したが、どちらも優秀賞を受賞できた 理事長賞、市長賞には及びませんで ことは今後の業務

の励みや自信に繋 でまいります。 に置いて取り組ん 共に』を常に念頭 も各職種が連携し がりました。今後 て『「あなた」と

特別賞

今スムーズな移行支援を目指して 『教育と福祉 友愛デイサービスセンター 0 連 携

ンケート調査で抽出しました。 係者が移行時に感じる不安や課題をア 行される方々がよりスムーズにその第 歩を踏み出すことができるよう、関 別支援学校を卒業され、 福 祉 移

性や活用③支援・介助方法等 をすべきかを明確にしました。 の三点に絞り、 のイメージ②各種社会資源 主な課題を①移行後の生活スタ 当センター として の継 の必 要

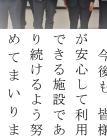
学園の先生方・ご利用者家族、 谷区地域生活課ご担当者・ をフォロ ] 業務 光明 L て

世

田

お忙しい中ご協力してくださっ

像には できる施設 が 謝 < いたします。 安心して利 今後 れた上 心 ţ か 司 で 皆 5 • あ 用 感 同 様



す。

#### 第1回 友愛青空マルシェ







お販がパ互売デン た。 できま 企 せて ガイル 田 画 グや焼き立 画として「A 田谷施設の 過ごせる!! 1 ル 和 等スがの L が た無地 菓子、 三つ 中止 の理域 i 影 度 、、て一切ない定期間のない定期間したTシャツ 「友愛青空マ・る機会が、激な子止となり、は 響で か  $\mathcal{O}$ 5 水耕 福 3 次 盆 回もとても 祉 年 踊 間 開 減 地 ŋ に し域 催 わ に向け、ないただけなっなグッズ 新鮮野 ました。  $\mathcal{O}$ Þ た り、 皆様と顔 楽 を 「友愛ふ で、 が しみです。 開 新型 焼き立て まし 意気投合 ズ そこで、 へなどの利用者 **感を合われあい** エコロナ



ボ

グ大会が3年ぶりに

開 イ ま

た

第

54

口

宮

様

チ

ヤ

ij

テ

新

型

コ

ゥ 延

1 期

ル

ス

0)

感染

拡

響に

ょ 口

ŋ ナ

عَ

なっ

て

1

日 さ

旦

品

Ш

IJ

ル

れまし ウリン が、 影

**令** 

和 ン

4 ス

年 ホ

11 テ

月

27 12

障 害の

部

は プ

通常

0

半

分

0

数

#### 第54回宮様チャリティーボウリング

からは

世

田田

|館と友愛園

のご

0

実施となりましたが、

当

法

用者が参

加され、 1谷更生

貸し切

 $\mathcal{O}$ 

ボ

リリン

グ場を大変贅沢に

わ ŋ

せ

使

も大変お疲れ様でした。 が 少ない 様との だを担当した友愛園の 楽しむことができまし ただき、 イスを受けながら、 分、 交流におい また、 通 温常より プ ても参 口 ボウリ 職 ŧ ボ た。 員 沢 ラー Ш 加  $\mathcal{O}$ 皆 事 人数 T  $\mathcal{O}$ 







#### 善意の か がががず

(令和4年7月1日~令和4年11月30日)に対して、心より御礼申し上げます。に対して、心より御礼申し上げます。を賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましたことを賜り、また、善意の金品のご寄贈を頂きましてご奉仕等

### 奉仕活動

### 林藤山田 (**谷更生館** 生子代館

○**友愛園**○**友愛愛デイサービスセンター**○**広ホーム**□は川川 豊子
□は川川 豊子
□はボーム
はまほの会
はまける。
一世オービスセンター
の砧がデイサービスセンター
があわせみサウンズ
のいた。かセンター
のおかした。かセンター

センター

林 4 和 隆藤理 李 英 絵 里

美也子

二中德玉竹武滝定佐坂 木川田置之田沢方治上 内 江襟真正 敦勝義美恵 敦 勝 子 子 公恵

克昌 江律子 真紀

米安武宮泥原林田田藤島谷 智子

恵美子 ひさの

麦の 港区社会福祉: プル 会 デンシャ ル生命株 議会

寄 付 金

○本部</li

職員異動

令和4年7月· 4年 111 月盲 30 5 日

友愛ホ

遠 長 酒 井 健 治

1

A

○昇任 友愛ホ

園 長 A 早 田 政 治

法人本部事務局

総務部長 酒 井 健

● 東京世田谷南ロータリークラブ ● 東京世田谷南ロータリークラブ

○友愛デイサービスセンター ○ 高橋 ○ 合村 ○ 合村 ○ 合村 ○ 大学ディサービスセンター 京市田 市日出 市田 市田 市田 市田 市田 市田市役所 下田市役所 東京藤覚障害者支援センター 東京藤登章 大学 市田市役所 東京華意銀行 高橋 重子

敬 称 略

ゆうあ 令和五年一月 1 第 五十六号 日日

発 行 人 行 所在地 社会福祉法人 友愛十字会 健

電話(〇三)三四一六 - 三一六四 http://www.yuai.or. 号

表紙写真:友愛園 坪 谷聖